夕刊
八月十四日發行

小兒科・內科
酒井醫院
入院隨時
平市南町（電五五五番）
醫學博士 酒井保

新綠の湖畔

山口武夫

富士一つ埋め殘して青葉かな

これは誰かの句であつたか覺ゑはないが、武藏野の初夏を表はしたものであることだけは記憶にある。まことによく表はし得てゐると思ふ。

都會に居住してゐる人あり、何處かへ出かければ新綠の氣分を味ふ事が出來ないと思ふが、私にはなかなかどしてゆくまで湖畔の新綠を味ひ得る幸をつくづく思ふのである。

富士五湖の中最も人の眼をひくのは河口湖であるが、山中湖の方が素朴であり野趣に滿ちてゐる。それだけに新綠の美しさは又格別である。湖の周圍が柔いアウトラインをもつた山々であることが一つの特徴であらう。山麓のバスで梨ケ原を行くと先づ眼につくのがその一つ三國山である。

湖畔の落葉松の綠にあおもげぶれるが如く、その間に別莊の紅い屋根と白壁が見え隱れしてゐる。殊に湖畔に咲いてゐる野海棠の淡紅の花に降りかゝる雨の寂に何とも言へぬ親しさがある。朱に燃えてゐるのは蓮華躑躅、青葉の間に銀嵐色の檜の幹が雨に濡れて光るのもよい。

散歩の好きな私であるから、朝は湖畔へ出かけて行くのである。天氣なら波も靜かで、逆さ富士がくつきりと湖面に映じてゐる。小島岬の新綠は潑剌として眼前に迫り、朝陽は生々と燃え、湖の上を吹く微風は輕く頰を撫でる快さ。岸邊の曳舟をのぞいて見れば、底籠に魚がピチピチはねてゐる。

岸邊に曳舟すらむ人ありて牛籠に魚のはね上る音

大間々の岬の上に茶店が一軒建てられた私はよく其處まで行つて青葉のかげに轉んで雲の去來するのを見てゐる。

林の中では頻りに郭公が啼くのである。

8月15日

△ナポレオン一世生る（一、七六九）

△東蝦を北海道と稱す（明治二）

○

小風は大火を燃えしめ大風はこれを滅す　英國俚諺

講談 夜嵐お絹

〔146〕　悟道軒圓玉　筒井直衛畫

捕鼠劑

三次郎を調べる大羅卒は五大區屯所詰の牧野譲と云ふ長州人。

「その埒の前へ立て」

「ヘエ、此の丸太へ止まりますか！」

「お前は俳優のおくりとかで事であるが、其のおくりゆうは何か」

「ヘエ、役者が芝居に參りましたり、又歸る時に供を致しまして、種々世話を致します」

「それでは俳優の護衛ぢやな」

「ヘエ、御幣なぞ持つて居りません神官ぢやなし」

「御幣ではない、護衛と申す主人の身を守る職務ぢや。シテお前が送り迎へをする其役者は何んゆふか」

「てしまやの親方でございます」

「てしまやとは何か……」

「京瑠璃の屋號でございます、字には豊島屋と書きますが、それでてしまやと呼ばせるそうで、京阪から今度上つて來たものでございますが大層人氣がございます」

「ウームさうか、お前は今回向島で釣を致し居つたな、茶屋の老婆が捕鼠劑を混合した飯を川に投じ、魚が浮き上つたのを見て、捕鼠劑は鼠や魚ばかりではない人に効くと云つたが、捕鼠劑に依つて死せる者などあつたか」

「そいつはとんだ事を聞かれたナ誰が此事聞いたかナ」

云ふと後に控へて居た探索の大澤鐵太郎が、

「俺が立つて聞いてゐた、穩かでねゑ事を云ふと思つて乃で當所へ連れて來た、鼠捕りで人の死んだのを見たか、判然言ふが宜し」

「驚いたな、爲樣がねゑ斯んな事を聞かれては、エー御役人樣に申上げます、鼠捕りで死んだ人を見た譯ではございませんが、賴まれて買つた事がございます」

「それは誰に賴まれたか」

「小林金平さんのお妾のおきぬさんから賴まれまして買つて屆けましや」

「その小林と云ふ者は何者か」

「それは金貸でございまして駒込に本宅がありまして折り〳〵駒形のおきぬさんの所へ遊びに參ります」

「そのおきぬと云ふのは、體何う云ふ經歷を有する者か」

「以前は猿若町で紀ノ國屋おきぬと申して藝妓でございます」

「其女子から賴まれてお前が捕鼠劑を買うて來たとの事であるが、おきぬとお前は懇意であるか」

「ヘエ、私の親方の京瑠璃が出入をして居りましてそれにおきぬさんがお妾になられ前から知つて居ります」

「ウーム、その小林金平は今日も無事で居るか」

「それは此の五月、急に亡くなりました」

是を聞くと大邏卒牧野譲の眼がキラリと光つた

「小林金平は急死いたしたか」

「左樣でございます、もつとも病氣では居りましたが死ぬやうな容態も見えませんでした、それが急に歿くなりまして」

「捕鼠劑を買うたは何時頃か」

「此四月でございました鼠が出て台所の物を荒すので困るから買つて來てくれと處さんから賴まれまして、それで馬喰町の本家元石見銀山鼠捕劑を買つて來ました、ところが四五日經つて此鼠捕劑は効かないからモツト効くのを買つて來てくれと申します、そこで此五月の初旬でございましたが藏前の大道で賣つて居ります鼠捕劑を買つて參りました」

「ウム左樣か、其捕鼠劑を買うて居て間もなく小林金平は急死いたしたか」

「然うでございます　お醫者樣は花川戸の本多春泰さんでございます」

「その醫者は何んと云ふたか」

「本多さんは私も知つて居りますから小林さんの歿くなつたのは何ん病氣だと聞きますと、あれは風邪を引いたが原因であるが、アンナに脆く逝くとは思はなかつたと申しました」

「さう醫者は申したか、宜しい、モウ用はない」

「ヘエー、では歸つても宜ろしうございますか」

「イヤ兩三日こゝに居れ」

三次郎はこれを聞いて驚いた

姉の家

鈴木光子

○夏を來てこもれる家の庭にふる雨音疎し日あたりながら

○畑中に咲く向日葵の大輪は陽の入る方に皆向にけり

○ほの〴〵と雲のなづさふ空遠く夕日を受けし赫き山なみ

○はる〴〵と國原すがしきみどりの麥生が果に澄める赤城嶺

廣告

酒トマヅイ
たでんの
榮ちゃん
平市田町花ノ里
電話三三番

亡父千代吉新盆に相當り候處甚だ勝手ケ間敷候得共時局柄提灯其他供物の儀一切御辭退申上候間不惡御諒承願上候
昭和十五年八月
平市田町
鈴木信雄

ユアサランプ、
電池配給所
自動車とリヤカーハ
矢野輪業商會
電話七三〇番
振替口座東京七二二七番

社員招聘
一、事務所主任　若干名
二、外務社員　若干名
今回業務擴張ノ爲メ石城郡、双葉郡、相馬郡內數ケ所ニ事務所ヲ新設ス
年令ノ如何ヲ問ハズ身体强健ニシテ業務ニ熱心ナル（經驗ノ有無を問ハズ）男女ヲ採用す
給與、其ノ他詳細ハ面談ノ上（特ニ旅費手當支給ス）
希望者ハ履歷書持參當出張所ニ御來訪ノコト
平市南町四五（平郵便局裏通り）
片倉生命保險株式會社
平出張所

開業
內臟外科
整形外科
平市大町二番地
內木外科醫院
（入院隨時）
醫學博士　內木宗八

簡易金融
小口も歡迎いたします
茨城相互株式會社平出張所（金融業）
綠川喜三郎
假事務所　平市才槌小路四二

生花教授
池ノ坊
生花を懇切丁寧に御教授いたします。お遊びがてら御出で下さい。
平市四丁目和泉屋旅館
須藤まつの

化學が生んだ物理療法
適應症
高血壓　中風症　呼吸器病　胃腸病　心臟病　脚氣　痔疾患　神經痛　泌尿器諸症　生殖器　ロイマチス　婦人病　蓄膿症　喘息　小兒虛弱體　其の他
難病磁氣療法
最新式の器械を設置致しました、皆樣の內には樣々の御病氣でお苦しみの方も又は樣々の治療を加へても更に全治せざるお方も御座いませうからお試しに病院へ御出で下さい。治療料は至極低廉、遺家族は特に割引す、貧困者は實費又は無料
醫學界の大家推奬
東京帝國大學醫學部醫長　眞鍋嘉一郎先生
村上病院長　醫學博士　村上幸夫先生
佐多病院長　醫學博士　佐多芳夫先生
藤山常一博士發明
世界七ケ國特許
マグネタイザー
磁氣療法
毎日（午前八時より午後六時まで）
百聞は一見に如かず物理療法を試みよ
治療所
平市驛前田町（平市役所通り）
シンガーミシン內（二階）
物理療法磁惠院
◎難病にてお苦しみの方は一日も早く試みよ

体位向上の夏
新舞子や四倉の海は招く
海岸行は快適な木炭バス
今年は更に増發しました
平……四倉　往復券二割引四十錢
（團体は特に御相談に應じます）
御案內　自動車停留所からの道程
※ピクニック、船遊びには日本百景
新舞子、仁井田浦へ……約二丁
※海水浴には……四倉海水浴場へ……約一丁
※波立藥師、鍔ケ淵海岸へは……約八丁
平市四丁目
合名會社平四倉乘合自動車
電話五九四

登錄商標
家傳　ゆでくすり
良藥　ムテキ
一袋三十錢　二袋五十錢　五袋一圓
切傷洗滌等ノ苦痛ナク快癒スル理想的家庭療法藥ナリ
主治效能
ゆびはれ、きりきず、りんびやう、ばいどくやけど、ちゝはれ、くさかさ
○毒ウミヲ吸出ス事ナリ
○凡そ膿を持つ疾患にお悩みの方に御試し下さい
製劑本舖　宮城縣　ムテキ商會
平市古鍛冶町十番地（縣社下）
代理店　阿康藥局
電話四十四番
振替東京三〇〇六五番
各有名藥店ニアリ

お醬油は……ヤマフル
味噌醬油
たひら正宗
鰹節　食品料
壚屋
山崎合名會社
福島縣平市
電話（營業部一〇番）（本店二七番）
明治生命磐城代理店　山崎與三郎

一般貨物運搬
時代に即應せる新陣容を以て迅速低廉に御取扱ひ致します
福好工業合資會社
代表者　强口唯七郎
自動車部
電話二八二番

御婚禮御着附
パーマネントウエーブ
洋和結髮　オゾン美顏術
御婚禮のかつらを御利用下さい
御染髮洗毛
美爪術電話　六七八營業所　五二五自宅
平市驛前
水野化粧院

制服廢止を斷行か？

向背如何で地方への影響頗る重大

時局即應の負擔輕減説

此程中央に於て持ち上つた中等學校生徒の制服廢止問題は年々新に

發中二五〇、磐女二五〇、商業一五〇，工業七〇

等七百有餘の中等學生を收容する平市として其の成り行きが非常に大きな影響を來すこと云ふ迄もない。尤も之より先き新入學生に對しては時局柄各校共黒色或は霜降り等從來用ひ來つた小學校時代のものを襲用するを認め俄に新調の要なき事になつてはゐたが之が當面の便宜法でなく將來制服無しになれば甚だしく体裁を損せざる限り，時に父兄の着古しを改造して間に合せることも出來，其間保護者の負擔輕減は現に實行して居る靴代用の下駄穿き容認と相俟つて蓋し絶大なものありとして最近次官會議に廣瀨大藏次官から該問題が提案され文部當局でも夫々關心を深め初めると共に今後の動向が地方からも少からず注視を集めてゐる

眞に機宜の計劃

早くも市內關係其他 地方識者間に共鳴

中等學校制服廢止，學業に差支ない程度の自由服公許，靴の自由選擇，靴下廢止，奢侈會の統制等に關する今回の問題表面化は時局柄寧ろ當然の歸結であり，地方の學都として前記男女四縣市立中等學校の外佑賢，靑年，藤田，平陽等男女私立中等學校を有する平市をはしめ各地に於ける中小學敎育上特に勤勞生活者の家庭に大きな一つの負擔が減るわけであり，新体制に即應して生活合理化，生活新設計の問題が澎湃として擡頭して居る折柄，全面的に之が實踐躬行を強調すべきであり，此際瀟洒たる制服姿に外見を飾らんとするが如きは以ての外と識者間の意見が優勢である

胡摩澤壯年團總會

市內胡摩澤壯年團では十三日夜澤の湯に開いた總會で役員改選優良團員を表彰、市水道部眞野技師大嶽辯護士の祝辭講話あつた

△新役員 團長蛭田淸、副團長渡邊末藏、森下定雄、會計佐藤寛二、茂木茂、幹事長加藤與田郎、幹事水谷學藏外十名

△優良團員 水竹榮藏、茂木茂、折笠寛、浦邊松之助、安田倉壽、田山秀志

は二十四日同所に開き災害復舊工事につき協議する

最年少は十六歳

白虎隊型異色の戰歿者

前記戊辰役の戰歿者は何れも二十台の血氣壯んな人達が大半を占めて居るが最年少者に岡山藩の伊原松次郎十六歳があり，次に十七歳一人，十八歳三人。最年長者は市內性源寺畔に眠る筑前藩の戸田仁三郎五十八歳である

鮫川小川臨時會

鮫川堰組合では二十日平市團体事務所に臨時會を開き竣功式につき協議 また小川江筋組合臨時會

練士號允許

市內三氏へ傳達

嚢に京都武德殿に於て劍道階級試驗(四段)を受け練士號を獲得した市內

齊藤光正 門馬駿一郎 增尾孝介

三氏に對し去月二十七日付を以て總裁宮殿下の允許狀が傳達された

香華の訪れも無く 哀れ深い無緣佛

地方の戊辰役官軍墓所

魂迎への舊盆十三日は愈よ明後十六日に迫つた。寸暇を止めぬ附近の清掃に香華手向くる仕度も整ひ、各寺院の墓域は夫々年一度の回向が行はるる中に眷族の四散其他で今は弔ふ人とても無い幾基かの墓石が消んぼり靜まり返る姿は盆にして殊に此上無く哀れ深いものであるが、此種の無緣佛が市內をはしめの地方に於ゆ成辰役ゆかりの士卒に少ない。即ち文献に殘る丈でもざつと次の如く、往年物凄い石火矢 間を潜つて勇敢にも戰つたこれらの勇士はいま靑苔白露の下靜かに眠つて居るのである

(氏名略す)

植田町東由役山佐土原藩一、勿來町關田字寺下岡山藩一、市內胡麼澤に薩州藩十四、同長橋町に廣島藩十、因州藩六、岩國同一、長州二、伊州二佐倉一、備前二、筑前六佐土原一、堤ノ內に久留米一、彌宜町に佐土原二其他高久、小名濱、磐崎、四倉、草野、大野各村に藩州、柳河、因州、佐土原、笠間各藩關係の十數名分がある

淺水校長今朝新潟赴任

驛頭多數見送りに賑ふ

在任三年四ヶ月職員生徒の品性陶冶に學術の向上に終始一貫熱心の努力を續けて今日の高月學風を築きたる上校內外愛惜の裡に新潟中等校長に榮轉したる淺水成吉郎氏は愈よ今十四日午前八時三十分發磐越線列車にて赴任したが、驛頭は之の名校長の轉出を惜しむ多數生徒及び一般見送り人に非常な賑ひであつた

砂糖購入心得

一般家庭用砂糖として配給するもののうち下宿屋及び歸省學生等增員の家庭に對する配給は小賣店でその都度御元より荷受の上配給することゝなつて居り從つてその間多少時間を要する旨十三日市當局から市內各區長を經て周知せしめた

なほ昨報新盆家庭に對する一戸一斤宛の配給は來る二十日までとなつてゐるから留意されたいと

暴かれた惡の行狀記

インチキ鑛業師二名檢擧さる

平署では、石炭景氣の波に乘り最近目立つて多くなつた「何々鑛業所」のうちには形ばかりの坑口で地方の事情にうとい都會人からボロイ儲けを占めてゐるインチキ鑛業師があるらしいので內偵中、愈よ確証を握り數日前市內二丁目五八元カフエー平樂跡の三爾炭礦主榊原爾一(四〇)と市內白銀町一二戸澤鑛業所主任戸澤康晃こと戸澤泰(四四)=橫濱市中區初音町生れ=の兩名を槍玉にあげたが今年一月からの惡の蓄積なんと四萬圓、今更ながら關係者を呆然たらしめてゐるその罪狀

炭礦は形ばかり

懲り性のない榊原

双葉郡大久村に炭層僅か一尺、坑夫四、五人といふ形ばかりの炭礦?を持つ榊原は今年一月から場所もあらうに平署前通りの元カフエー平樂跡に事務所を設けて大炭礦經營を裝ひ、石炭の前金名儀で橫濱市中區共進町荒岡信榮、東京市日本橋區吳服橋二の五の八石黒幸太郎外十餘名から約一萬圓をせしめ東京に妻子あるを秘して市內コンパル元女給佐藤よしの(三五)と同棲豪奢な暮しをして居たもので以前にも酌婦を身受けしたり女給、女中など數名の女と關係したことがある尚昨年十二月中二千圓の石炭詐欺關係者として平署の取調べを受けたこの道のしれ者である

新看板—せしめたり三萬圓—刑事部屋で泣つ面

元重役？の戸澤泰

一方戸澤はこれ亦大野村白岩地內にある名ばかりの礦區を種に一と儲けせんと市內白銀町松崎屋旅館跡を月四十五圓で借り受け、電話を架設するなど炭礦事務所らしく裝ひ「採炭は全部送るから」と出鱈目を並べ東京市京橋區木挽町株式會社旭商會から千五百七十五圓同市京橋區三原橋新銀座莊志賀米平から六千五百圓の外に十餘名から都合三萬圓を詐取したにもあきたらず最近は「昭和採礦株式會社」「平鑛業所」の看板で新たな惡事を企んでゐたものらしくその看板もいまは平署刑事部屋の一隅に泣面を下げてゐる

戸澤は元インチキ造船會社の重役から橫濱で貿易商をしたことがあり、和歌山縣下の某炭礦に働くうち常磐炭界の景氣を聞き懐中無一物で潜り込んで來た男である

母を尋ねて

茨城から涙の願ひ

けふ市役所戸籍係りへ茨城縣新治郡土大津村岬立目下同縣土浦町數島町三三の六居住の瀧茂光さん(三四)から手紙で瞼の母の搜索方を願つて來た

茂光さんの母マスさんは今から十年前家出、音信不通となつたが風の便りで平附近の梨子畑に働くを聞き、一目會ひたいが病氣と數人の子供を抱へて生活も不如意、外出も出來ず取り敢へず書面でその所在を求めたもので當局ではこれに同情、目下八方尋ねてゐるが判らない

四倉の公休延期

四倉町商業組合では十五日の公休日を本月は舊盆のため十八日(舊七月十五日)に延期する

五十圓以上買ふ客に 約一二割の國債割當て

「買物貯蓄」の懇談會

地方でも—

「國債買へ」の運動は既報あまり芳しからざる成績に徵し、精動運動中當面の問題とし縣では先づ縣下四市を主眼に呼びかけることゝなりその一助としてこんど中央都市に依つて「買物貯蓄」を實行することゝなり、明十五日午後三時から平市會議事堂に市內洋品、呉服、洋服、家具商代表其他關係者を招き懇談する

これは一般の消費の機會を捉へ、各商店を通じてその能力に應じ國債又は貯蓄債券購入の豫約申込みをなさしむるものでその程度は大体五十圓以上の買受けの二割位となるらしく地方としては全く新しい試みだけに今後これによる消化成績 期待されてゐる

平市慶弔錄

△出生 中町三田忩隆一氏三男慶也君。上平窪字三代四九林大八郎氏二男幸雄君

潤ふ貧困者の家庭

けふ市からお見舞金

市社會事業助成會では昨年の如く舊盆を前に極貧家庭の慰問に乘り出し今十四日方面委員を通じ見舞金を贈つたがその總額二百二十余圓、要救護家庭は昨年より二十余戸の減少を示した

拈華微笑

時難征服、廢止制服

□

斷じてお仕度に見えを張る秋でない。だん袋に下駄穿きが結構

□

モンペ徒步通學・女子にもその位の心構へが必要だ

□

二割處でな 全十割で國債を買へ

□

公低，垂れて可なりの源暑、殘暑の前驅か

陣中を聽く (824)

お陰で元氣一ぱい 前線の護りに專念

鎌田町出身 鹿島幹司君(信通)

拜啓時下盛夏の候益々御壯健にて御多忙なる公務にお勵みの事と推察申上げます。降つて小兵お陰をもちまして元氣一杯前線の護りに專念致し居りますれば他事乍ら御休心下さい。

此度は盛山なる御慰問品をお送り下され嬉しく頂だい致しました。留守中一方ならぬ御世話に相成り其上戰地に在る我ら一人〳〵に迄色々御配慮を下され厚く御禮申上げます。早速御禮の便りを出すべき處何かと忙しく心ならずも本日になつてしまひました。

最近敵の動きが小癪にも活潑になり我らも大に張り切つて度々出動して敵を叩きつけて居ります。

近頃の大きな討伐では相當新聞を賑はしたる×作戰にも二ヶ月餘も參加致して微傷だも負はず元氣で駐屯地に歸つて參りました。

目下當地も暑い最中です日中は百二、三十度位まで水銀が上昇致します。蠅は驚く程居ますが蚊の少いには又驚かされます。

今後も益々銃後各位の御期待の萬分の一に副ふべく粉骨軍務に勵む覺悟で御座います。

暑さ嚴しき折柄御自愛專一の程戰場の片隅よりお祈り致して亂筆亂文に 御禮迄。

芽出度入城

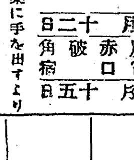
內市出身 田巻源一君

拜啓長らく御無沙汰に打過ぎまして誠に申譯御座いません。此の點平に御許し下さい。また其後は皆々樣御一同樣には何の御變りもなく御元氣で御働きの事と思ひます。お陰樣にて小生も其後何の故障もなく過般の〇〇戰に參加致しまして芽出度く×に入城致しました(六月十二日)

目下此所の警備に任じ活動して居る次第で御座います。

先は暑中御伺ひ旁々御通知致します。

新暦 八月十五日 木曜 舊暦 七月十二日 庚寅 赤口 破 角宿



▲一白 共同事業に手を出すより傳來の仕事が吉し▲二黒 出す事には無事なれど取入れ事に支障多し▲三碧 順風に帆を揚げ大海を渡るが如き開くわつの日▲四緑 天の助けありて光明の域に導びかるべき日▲五黄 出入を正しくし時を計りて動けば過ち少し▲六白 時を逸せず活氣を落さずば好機に入るべし▲七赤 運氣は外に出で強し內仕事は面白からず▲八白 心を動かされ易し相談事は後日にゆづるべし▲九紫 思ひを安靜にし世の潮流に逆はぬ樣すべし

十五日 【小名濱測候所觀測】

滿潮 前 四、一五 後 一一、二五

干潮 前 九、〇五 後 八、五五

天氣豫報 小名濱測候所觀測

今晩 南東の風晴 曇

明日 同じく曇雨模樣

殘炎甚しき折柄謹で前線將兵と銃後各位の御健康を祈上候

磐城炭礦株式會社

入山採炭株式會社

古河鑛業好間礦業所

日曹鑛業常磐出張所 電話七二八、一八九、五二四番

好間村 小田炭礦 平炭礦

赤井村 赤井炭礦 常磐炭礦 福島炭礦 赤井窯業工場

金成通

平市長 靑沼鋒太郎

鈴木辰三郎

縣會議員 小名濱町長 小野晋平

縣會議員 平市會議長 野崎滿藏

植田町長 古川傳一

阿部政右衛門

平庶民金庫

堀江工業株式會社

平市會議員 高橋龜松

平病院長 醫學博士 鈴木定藏

金成國雅

㊅ 佐藤材木店